

平成 2 9 年 1 2 月 議 会
第 4 委 員 会 報 告 資 料

須崎公園の再整備について

平成 2 9 年 1 2 月 1 8 日

住 宅 都 市 局

1. 須崎公園の課題と再整備の方向性

須崎公園は、昭和 26 年に開園し、周辺部には市民会館や県立美術館といった文化施設が建設され、須崎公園とともに多くの市民に親しまれてきたが、須崎公園、市民会館ともに供用開始より 50 年以上が経過し、施設の老朽化などが進んでいることから拠点文化施設整備の機を捉え、拠点文化施設と須崎公園のランドスケープが融合した一体的で魅力的な公共空間の創出に取り組んでいく。

■ 現須崎公園の概要

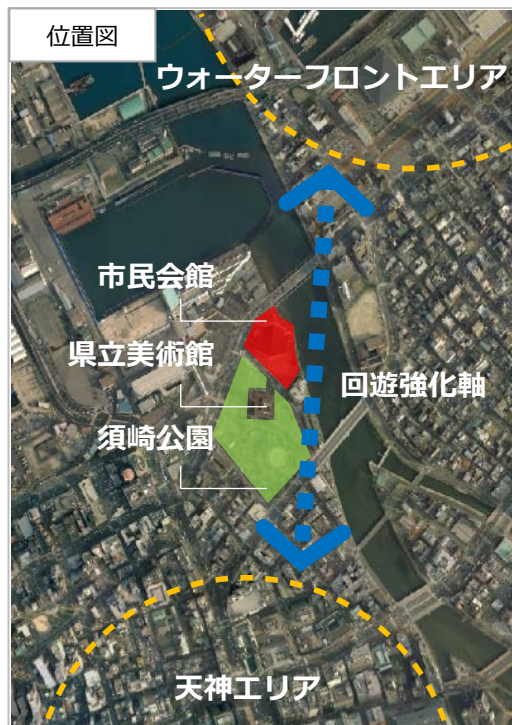
住 所：福岡市中央区天神 5 丁目 2
敷地面積：2.96ha
開園時期：昭和 26 年
公園種別：近隣公園
主な施設：噴水塔、屋外音楽堂、砲台跡 等

■ 現市民会館の概要

住 所：福岡市中央区天神 5 丁目 1 番 23 号
敷地面積：1.06ha
延床面積：9,255 m²
開館時期：昭和 38 年
諸 室：大ホール(1770 席)、小ホール、練習室等

■ 拠点文化施設の計画概要

敷地面積：約 1ha
延床面積：約 20,000 m²
大ホール：約 2,000 席の多機能ホール
中ホール：約 800 席のホール
文化活動・交流ホール：市民の文化活動の練習や発表の場
リハーサル・練習室



(1) 須崎公園の課題

| 項目 | 課題 |
|--------------------|---|
| ①施設の老朽化・魅力不足 | <ul style="list-style-type: none"> ● 噴水や屋外音楽堂など公園施設全体の老朽化が進んでいる。 ● 多様な公園利用に対応した基盤整備が求められている。 |
| ②公共空間の活性化不足 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市民会館や県立美術館との連携が不足している。 ● 水辺空間の活用が求められている。 |
| ③安全・安心の低下 | <ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインへの対応が求められている。 ● 夜間も安心して利用できる環境整備が求められている。 |
| ④維持管理水準の低下・官民の連携不足 | <ul style="list-style-type: none"> ● 樹木の剪定、除草など維持管理水準の確保が困難になってきている。 ● 公園への愛着を育む地域との共働が求められている。 |



▲老朽化した施設（屋外音楽堂）



▲除草前の状況

(2) 再整備の方向性

| 方向性 | 説明 |
|-----------|--|
| ① 施設との調和 | 施設との一体的利用により相乗効果がうまれるような公園とするとともに、公園と施設が調和したデザイン |
| ② 回遊性の向上 | 天神エリアとウォーターフロントエリアの回遊性を強化する動線 |
| ③ 水辺空間の活用 | 現市民会館敷地を水辺に開かれた公園として整備 |



2. 地区全体のコンセプト

須崎公園の再整備にあたっては、公園と拠点文化施設がハード・ソフト両面で一体となった魅力的な空間を創出するため、拠点文化施設と共通のコンセプトを設定し、一体の事業として取り組んでいくこととしている。

【地区全体のコンセプト】

- 施設と公園等が一体となったシンボリックな都市空間をデザイン
- 人を惹きつけ、まちをつなぐ新たな集客拠点づくり
- ユーザーにとって使いやすい施設として他の文化施設や公園のモデルとなるよう、ハード・ソフト両面の充実を図る

【須崎公園のコンセプト】

都心のこち良い居場所づくり

| | |
|---|-------------------|
| 1 | 「より魅力的な公園へ」 |
| 2 | 「より快適に過ごせる公園へ」 |
| 3 | 「より地域や民間と連携する公園へ」 |

3. 須崎公園再整備の方針

(1) 再整備のコンセプト

都心のここちよい居場所づくり

(2) 再整備の方針

須崎公園の再整備では、「より魅力的な公園へ」「より快適に過ごせる公園へ」「より地域や民間と連携する公園へ」の3つの視点より導き出した方針に基づき、ハード・ソフト両面から「都心のここちよい居場所づくり」の実現に向けて取り組んでいく。

視点1 「より魅力的な公園へ」

- 多面的に利用できるオープンスペースの充実
- 都市の魅力向上に寄与する緑豊かな美しい公園景観の形成
- 拠点文化施設及び県立美術館との連携強化や水辺空間の活用



▲南池袋公園 (東京)



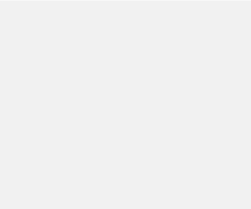
▲ブルックリンブリッジパーク (NY)

視点2 「より快適に過ごせる公園へ」

- 災害時の避難場所の確保
- 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン
- 見通しの確保や夜間も利用しやすい環境の創出



▲ひかり交流広場公園 (山形)



▲ブルックリンブリッジパーク (NY)

視点3 「より地域や民間と連携する公園へ」

- 地域と共働した公園づくり
- 民間活力を導入しやすい事業スキームの活用 (カフェ等)
- 拠点文化施設と連携した公園の維持管理運営



▲うめきた広場 (大阪)

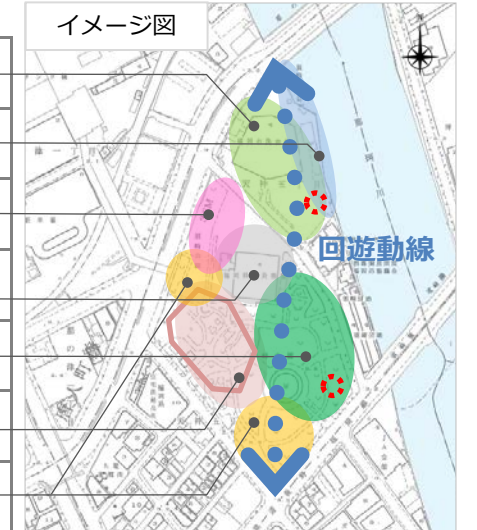


▲ブライアントパーク (NY)

4. ゾーニング・動線のイメージ

■ 方針を踏まえたゾーニング及び動線のイメージ

| | |
|-----------|-------------------------|
| 芝生広場ゾーン | 水辺を望みながらくつろげる広場 |
| 水辺ゾーン | 水辺の雰囲気を楽しみながら憩う場 |
| 桜並木ゾーン | 既存の桜を活かし砲台跡等の歴史を感じさせる広場 |
| 県立美術館ゾーン | 県立美術館と公園が融合した空間 |
| イベント広場ゾーン | 災害避難やイベントにも対応する広場 |
| 拠点文化施設ゾーン | シンボリックな施設と公園が融合した空間 |
| エントランスゾーン | 来訪者を出迎える公園の顔となる広場 |



イメージ図
● カフェ等の利便施設の検討場所
↔ 天神エリアとウォーターフロントエリアの回遊性を強化する動線

5. 事業手法

- 拠点文化施設と須崎公園が一体となった空間づくりに加えて、拠点文化施設の内外を活用した効率的なイベント等を実施し、公園の魅力向上を図るため、須崎公園の事業方式は、設計・整備・維持管理・運営について拠点文化施設と須崎公園を一体的に PFI 方式とする。

| | |
|--------|---------------|
| | 設計・整備・維持管理・運営 |
| 拠点文化施設 | 【PFI-BTO】 |
| 須崎公園 | |

※指定管理者による維持管理・運営期間は15年を想定している

- 地域の代表者等を含む協議会を設置し、公園のイベント内容を協議しながら実施していく。

6. 今後の整備スケジュール (予定)

今後、PFI 公募に向けた検討を進め、須崎公園の開園は、平成 35 年度に拠点文化施設開館と同時の一部開園、平成 37 年度に全面開園を予定している。

| | 29 年度 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | | |
|--------|---|---------------------|---------------|----------------------|------------|------------|------------|---------|------------|----|------|
| 拠点文化施設 | 拠点文化施設の整備について 須崎公園の再整備について 都市計画審議会：報告 | 実施方針等の公表 特定事業の選定 | 入札公告 落札者決定 | 都市計画審議会：付議 事業契約締結 | 設計・整備・開館準備 | 設計・整備・開館準備 | 設計・整備・開館準備 | 開館・一部開園 | 市民会館 解体 | 工事 | 全面開園 |
| 須崎公園 | | | | | | | | | | | |

※「ひかり交流広場公園」掲載写真について
出典：国土交通省資料

※「グランフロント大阪 うめきた広場」掲載写真について
提供・主催：梅田地区エリアマネジメント実践連絡会 様